宝井琴調

封印切の会 第12回

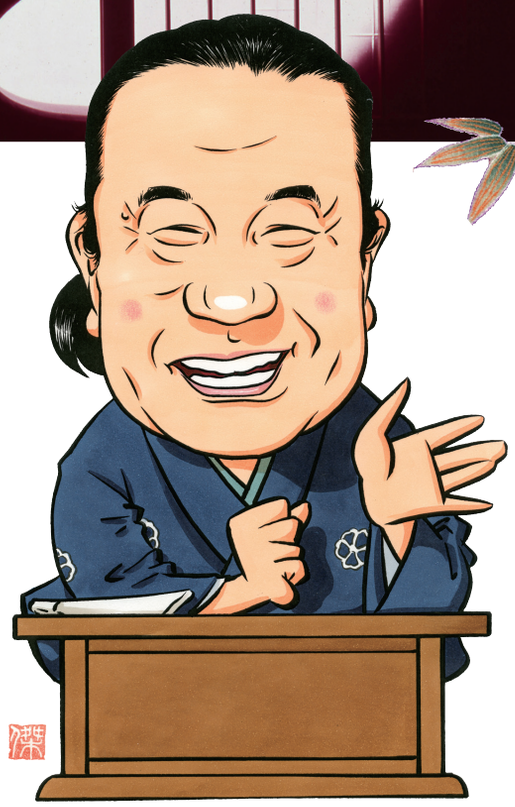
天保六花撰

第十二段

大団円 直侍愁嘆場から
宗俊召し捕りまで

他一席
他 前講
ゲスト・お楽しみ

スタジオアドス／PIXTA（ピクスタ）



前回までのあらすじ

暗闇の丑松は、可愛い我が子を殺された怒りから、女房の育ての親おかじを殺し、女房のお半を本所吉田町の御用聞き、五斗米市に預けて江戸を逃れ、上州、武州を転々としておりました。
半年たち、そろそろほとぼりも醒めただろうと、恋女房の顔見たさに江戸に戻ろうとさしかかった板橋の宿。雨宿りに入ったお女郎屋。そこにいたのは、吉田町にいるはずのお半でした。涙ながらにお半が語ったのは、友と頼った五斗米市がひどい男で、お半をだまして板橋にたたき売ったのでありました。
すべてを語り終えるとお半は自害を致します。丑松、女房の仇と本所吉田町に乗り込んで、五斗米市とその女房の首を落とし、練塀小路の河内山宗俊の処へ身を隠します。
河内山の悪業を見逃してきたお上もジリジリと宗俊の身に迫ってまいりました。

2017年6月14日(水)
開場18時／開演18時30分
お江戸日本橋亭
東京都中央区日本橋本町3-1-6 日本橋永谷ビル1F
電話　03-3245-1278

【チケット】 当日精算・全席自由
前売り 2,000円 当日 2,500円

【お問い合せ】
宝井琴調　03-3915-4753
齋藤弘幸　携帯 090-8747-1755
e-mail:rollinskintyo@yahoo.co.jp

【次回公演】
2017年11月4日(土) お江戸日本橋亭